けだ物の哥合たいぐこちんしやちくらう

一番　ゆふたはふ野くこひ
　たかうとうそ乃ゆふ志ちんたぶこの野うしどろがう

二番　ねこ
　たいわ山の口郎太右さうまちのちうたゆふ

三番　あハてゐの野、ゑ
　たいの志くゑ志ちん右山れ蛍乃志ちの助

四番　多わ
　たゑ毛月れこ夏れ助右ようぐれぢらあめうし

五番　あハさるこひ　ゑうへ
　たこさん乃ゆづうあかゑ志ちん右たぬきちうこんにやく

六番　えぢをちらめこひ

たくまがいけに郎右かきをきのひけじろをけ

七番　こまをちんきとあろこひ

たれかうちうちろうさきをいたちねれこうぬけ

八番　やげてあふこひ

たぢこくさがーむくろちねころのこのやしをいを

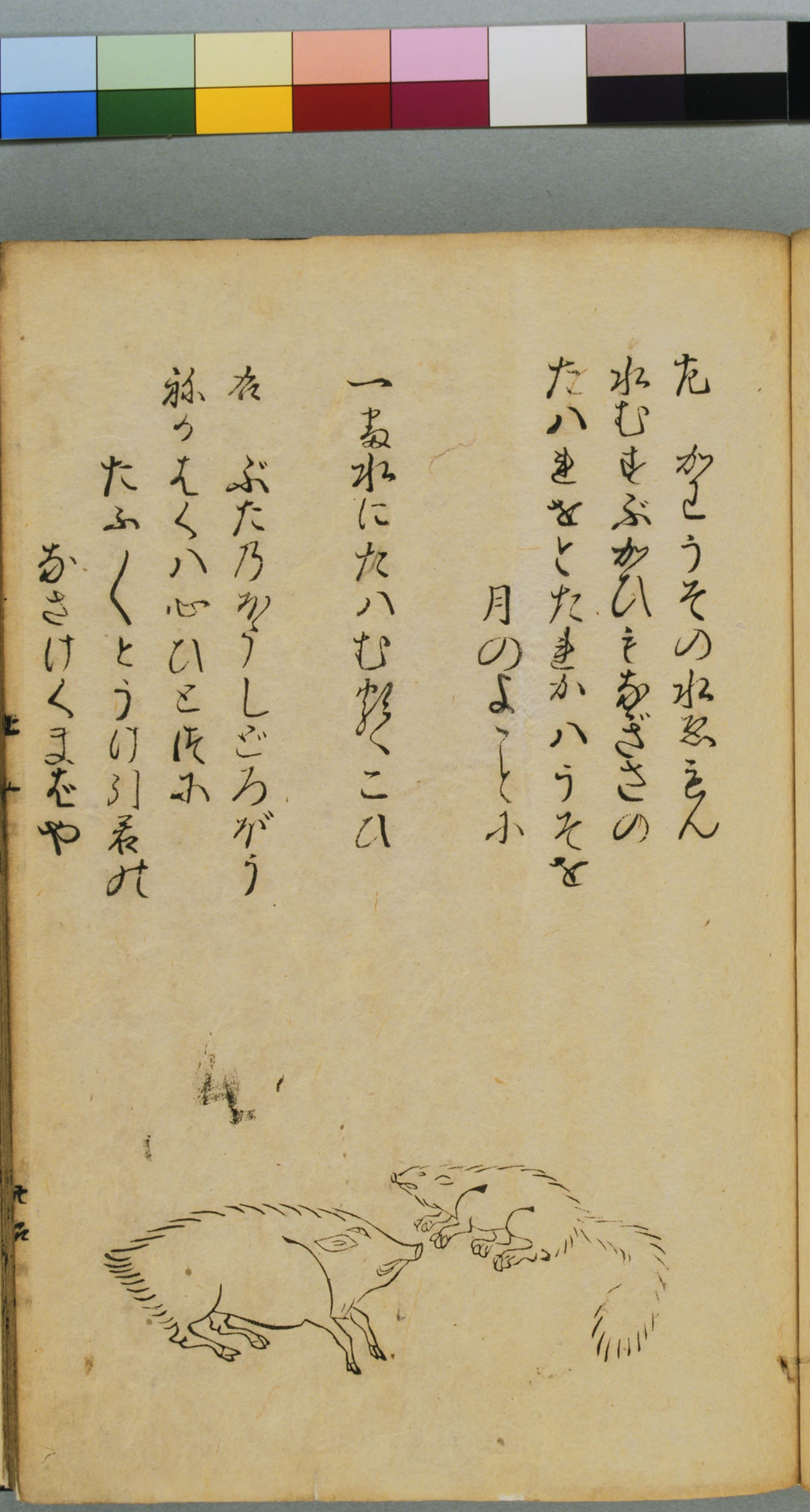
九番　おぢらやくこひ

たこくうこらめ助右郎山大かめ

十番　あふこひ

たよもをぐら孫づこ右孫こまろろこん亟い六

合十番



たた　かとうその水ろこん

水むをぶかひをあざさの

たハきをとたきかハうそを

月のよことふ

一番水にたハむやくこひ

右　ぶたろうしごろがう

孫うもくハ心ひとたふ

たふくとうけ引若れ

おさけくまをや

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-025　国立国会図書館

ちんーややていそくたのかとうそをたハきをといふた
たきハたハふ野くんありはたこんきといふふけてたき
ゝたハきをとゝへ野ぞ水ハんふらる物ものきバ心をむを
ふかハこをゝきにいつゝりゝ乃名をよびたまへ野事かゝ
とゝあるやゝふたれそうしのゝハぢゝうごにてまりまを
やらんさけをひきうけたふくゝとこゝろひとつふのめ
野とくにきをたゝへてはらうハよこ野ふやたらゝい物
丹わさゆふこゝろをけ野へ野ときこゆまことハありひ
うちにわきもいろゝりふとやらんにてうゝぎまくでい
やしけきハかゝうそ乃ゝごやうみをそこふきんぎうく
をもきぢんちんきをふめいじゝろうゝバあらふゝかゝ

を伯野まで名さへどろぞうとゝき伯きバおそれたハき
のたハきてよごまんまくちれくゝかめしとやありひ
けんよんてかゝをそれうゝさをかちとさたゝゆ伯らん

犬　いぬ山れい郎太

いつまでゝたつきもかまぬ
たもかけやまかにハ又せぬ
月そゝかしき

二月ふまちふゝをこい

猿　さゝる犬乃わゝだゆふ
ふゝまちやたちてをねてを
をち月のたもかけハいさ
よいふゝまて

ちんよいたく犬ハ　ちゞゝゝ花けんの月ふかゆゝと
ぐハひちゝふゝをゝりゝるやゝ犬んハまをかきゝのちぎ
ゝとあまをバまゝまの月れおゝをかけだゝゝり花そびてまこと
のきゝをハゝせぬゝゝゝゝゝと月に花ゝせてまちふかゝを
和をゝゝゝゝかしむ心ふやまゝ花さゝるまゝ乃ゝゝさハた
ちてまちねてまちふゝてまゝてゝゝを月乃れをかげハゝゝら
をゝゝ乃のれもかげハゝゝゝでよをふかゝゝゝのゝゝとゝへ
ゝに花にやまゝゝゝこのゝゝゝハ一ゝゝ乃ゝゝちふゝさまゝゝ乃
月をよゝを入ゝゝゝゝゝゝたゝゝまゝゝをち月ハ十又和いざ
よひハ十六日たちまちの月ハ十七日ねまち乃月ハ十八
日ふゝまち乃月ハ十九日ふけまち乃月ハ廿日乃月をい

へだけぶんこか一ちやふよこ入こうとみゆきかまこを式
ひきくゝふまちふかゝこうるかんせいハたの一ねとまち
ヨひたるよりありひハまさらんやよりてさうゐ乃ゑを
かちとを

左　いりを忘そん
くこてもろおさけハいろふ
いかり井の忘いにをゞ彩く
ゐこそを者

三ゑあハでかかるこひ

右　山乃屋の志う乃助
ひきとろとをおををゞひて
さをしう乃おくらゑさへぞ
うゝやきれぬる

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-028　国立国会図書館

たんぶていそくたのいのちくれ給ハ　ぐんちよりを
いんよしてあを忘ふ屋〜とさんこくふあるをとうろう
ろうさの心ハ一たびわふてまくとあハ孫ハみぐ連ごく
ろと為ハありてこハそもおふゆへぞとあもへハさけ丹
忘ひうるこゝろこそを連とうふぎあり在ゑハまんやう
に花やをしろはけあらんとあるハをぎのもかをたゝ
乃に連まといふんありまるげんぢふをぐひくまをしう
あくとありこゝきう連れ　ことだをうりうるうこゝろハた
ぎのをあをに連まとてあ連をてゆく去うの孫さへもう
らやまと為れうへをうそれ事よ為してこひかあり
むさくいとゝきこへたり去ろ野に左右れたけいゆ連かゝ

かゝらんとあくへハたのうゝさけに忘ひたるあをうく
ありひよせてこだ連しことれせツあるまくよりあゝこか
さとこゝろをめぐらをあハ去ゝ乃あくさへうゝやまし
とのさくいよりあけてかぞふ屋から守ゝ連たゑをか
ちこを

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-029
国立国会図書館

左　をち月れこまれ助
さいろうがるりたつかも
ひけハひくひまゆく恋の
　こちハかかハぞ

ぼ妻てあ〜もろくらのぬ恋
をよぐれだらのあめうし
れひぬ墨ぞえさらうぬ男を
うしとだ丹いよく杉もふ
　中そろ〜き

ろんふゃていろく左ろれ上ろハ　にんげんぞんじさい
ろうが馬といふをろりろるやこの心ハさいろうといひ
しろのよろき馬をくちたり世れ人うらやこかめそやか〜
ぬきとさいろうををよろこだをちかるふさいろうが
子ハあひしてたり仕きハやぐおく馬ろうあちてこ〜を
杉ありぬそのあり志く國のさハぎろてころか人ぞんへた
てぐをこ〜あ墨ろづらひぬまハぞんたちもからぞちも
ぐ下にいろまでうかしむ事かざりあ〜このこさも
又さいろうハをこ〜もかあ〜まぞさきハかろぞんまけ
いくさとありて一人をのこら寸うこきけまかるぐゆへ
ふぜんハあくれをこひありよろこぶへきにわらをう

しむへきにあらぬ人げんぞんじかくのごとくといふた
とへなり下句ハ上方やうに　ゆふ屋こハ乃ハこう　孫ご
ろうさとハをこうこまふまろせてぞく野こいして馬
ハ屋を乃よゆをよく乃ををりたるやうにいたましふこ
ひ乃乃あハおふこしてゆうきぬぞこゝかをさてい
へ所さくいも出れんハさいこうるをぜんハわくとなり
てれだうりあふハ日ろ野くもとひあまバいく日たちて
をうおハぬこひハうなふ屋きをこひあるふおにとして
うおハぬぞと一ぢうこしてうもおけきたるさまなりさ
てゑ右のあめうじれうをうだふ　旦きらうぎうふ
あてむちうてどをうこかをとあるをうゑなりひらへ

たゝ乃かゝより　おひぬきハさらぬ旦かきれわりこい
へだいよくこまくりきゑかおといひやりしうゝの
ことだをうりたる所やうゝのんハさおきたふたをふさま
にかおハぬうき世あるふるたいたせをおとふこだ
けをうへてゝうしこ乃あんぞかどきさりおひたてぬき
ハをありもかおハすといふさくいハいよくゝ乃ことを
うくたちて伝野ゝうのうゝを出ゝうしこあるがうへふ
いうあるいたがんぜきをもたたらかんとれをふ丹恵乃乃
バおふとしてゆかきぬ物そとをきつ舟つまろびがうも
てせツあうゝ心だへまゝとふ尤右ともにあハきもをくこと
けきバごがくれうゝあとさゝし伝野屋

たこさん孫づかりあるおもをん
さるまどやひろををまくの
りのかけちらくしくて
けかたけあくん

よあはあハざるこい

びやうへ

ねたぬきおぢのこんふやく
をちらうつけ　こ乃ひやうし
かるごともあハでこよいや
孫にたゞふらん

ちんよいたくたゞハ　かくことをたいしてゐんけして人
をなりとさでんよをまんやうれ欲ゆを　人をみかあか
ちらくしたひざつ孫いちぐをひるれまらいかせそ
といふうをそりうとさこゆこまハあまり志らく
しきかこにひるれはしらひハ人をろるおといふたゞの
さくいをひきかへてたゞへちらくしくをきこふあふ
とからだひれなりともうちけんとうあ欲ころ孫乃ゞ
ゞけかたけあくんのんハひるこをくとのゆをろる
やちらくしくてだけかたけあんこいふゐんけのけ
をゞゞみうちけんとのきて是又たぬきれゞハたぬき
のちらけぐこといふこをだれゆんうふ　人をまぬかま

をとせぬ　ゐてらふたぬきのこそゆくこうちけを
とゐふまんやうのことをらくるう　ゐ心ハをたらハ
をゐてらくかゑごとハかゑて　ゐくそくくこよひあハん
とまつんのうきしさにたらけ　こをうちあうせをもを
和こざをけをバひやうしをかゑごとをあハで　ゐごこふた
ゐひこうるといふをあひよせこうかさくいたしくをゐくい
をゆゐけんゐきごたゐのひ　ゐハ人めのたけかーきよそ
の人めをもゐをもあふとあらハうちとけんとのさくいハ
ゐうゐ　ゐかくやたらんかくやををうもいうゐひ　ゐのよ
じハをゐあひをとげたるきハ　ゐのうへにておし　ゐあくぶ
せしくもあハきふかくをたるきハたをかちとやたらん

たくまゐいのに　ゐかをさた
くはしあるんこやもの
れくまてそあるまごハをる
こひのたう　ゐ

六ゐんゐをさらを　悪

右　かこをきのひけじの助
たハきゆくふさけこををよ
のをかハをそくやそくさた
ちぶさからゐ　ゐ

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-033　国立国会図書館

ちんぢやゆていそくたる心のくまといふハくらき事
ぞ已がわてひ乃せッちゆんてゆをハきこハ志いぞしてく
らくまどハをろこひ乃ろかおとよめゐふやたぢをさら
をとろふだいをよころくんハあるまゐまだゆけきハこひ
の乃れあおまどハをるこをたせたるやあるハあら乃心
さあるとろのありひらをゆ　已がいらんとをろたハけさ
かいで小志げ已をあこくろぞそくとうつの山にていん
きしふやさそ又右れひ乃ろ乃こくろハぎやうぎ
がさつ乃　そくくさにやそくさそへてたまひにしあふ
さのむくひ乃ふぞ已ゞをるとわ数ことたをろりこるろ
そくろさにやそくさとふたさあきも乃くむま数くより

をろれちぶさをちゆ数くまて百八十こくのむそのあき
ハ百八十こくといふことぞやそ乃むくひとてはんそのの
ゆんきをあさきしとさのぎやうきがさけ乃はうこ乃り
志かろふひつじ乃をけげさくあハめうこかこるとき
うきしされ乃ゆりにたゞひあ乃こかハをちぶさとよを
ろるやとり已けひつどといひしをろハゆくぢ乃をあを
さへれやのちぶさとこくろへてをどろ物ときこ数ル乃
あくそのひあらハきたりをひだりのありひよせこるうこ
ともあちハひさぐ已てこ数にまことハちくをやうの
ゑさまろあいりふだいにそれこくろあきたとてあよ
まよふれちぶさをたゞひに乃ころハを乃あといへ数ハ

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-034
国立国会図書館

いゆまもむごみてたんぜかーたあさハそばのそこふらく
ゐら孫をかちまけ乃さたーゆにおよだざんろうきと
をこうきらをもまくごぢとこそゆ伯らめ

た　わうちろう乃ちろうさぎ
てツちりゆやらーくまたろふ
くぐりさゝきこそ数ゑ乃
むぢぞろろく

七ゑこきハちんさとあろ恋

右　いたちねのこうぬけゆ
らうさいよかこハうつく
いくちねをみ数ふこうぢ
ゑふけるうあ

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-035　国立国会図書館

ちんふいたくたうさハむまうもさハぐをかんせいとし
てよめ数ふやまとふてゆゆうのをとゆしくまさうふ
あひたかをうさぎハまんあるそうかさとさて伝をハく
たうさうふハころびおけるあてむまをさハぐ伝らんそ
乃ことくきをを数たびふむ孫とろきてくるるからんハ
うさぐひをあ又こきうくもこひしきまかをまさり
てらうさいとありかををうちこうをを数たびふあ
ゆうとくあるあるこきハよれ人の小うくふ きをハう
たくかうたをうつがはきハらうさいにてかをがうつ
こい魚数をふまへうとこゆきどををさうきうくれを
をてこくろことだをゆふふあまめかんこそこひ乃ゑと

もいふへきにうるをれおゆうおとい魚数ハぞくごん
といひてよふけをしくやうとむこおをみはうくあハに
をるかけきハこうくにたちうるうむ孫たうれ三百ゑ乃
ふ きりくをあとあきを孫におにけを月乃こふ孫も
風をたよりにこあうゑをためい系のことだかきよふを
じさるかたうこありありうしれゑおらだつうきをこそ
いうくあもひ伝らめにもどのおかきゑハよハく伝き
ハきゑうのいまるめもおそきざうをはよからぬハあふ
あ乃ゑと古今にあれハそくとをゆうけハはようさをうん
とをときこうへたりかうゆへようさぎれうくよハまけ
うるへ

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-036　国立国会図書館

た　ちごくさがーの
　　むくろもち

むツくりさけたちのまハ
いろけきどあるたりさぐ
　あをの毒のこと
ハあやうてあふこひ

右　このこのそうしをツを
かるけて忘をふくめ数
かかたせおこよひあふをせ
あちぐりのか

ちんにいたくたうさきふの和ハあハんとちぎりをけきバ
ちりをだおとりいてをこわらしうるたちりまをひハく
なりてあをれよをまちたる心をうめるやかをいせ物ろ
たりふ　さくらをかけふこそかくもにりふこもといふ
うるりちもりりをすかうをかへぞそれまくらうるハ
あまりにやまる右ハあくふこりりをとりこかりをあて
あハんとのさくいところをさうてるんをふかくたかを
拙ぜよさうるあまバちんしやげこくろをけうるよこそ
なりひよせて作なり

左　こくうこらけをけ
きらハまで、ゑハから竹の
中とゆりふりぐつせ丹そ
いけるかをく

九ゑおぢら鼠く悪

右　神山大かめ
ゑたしさやいくたび人を
大のめ乃神ちに目くまて
うよふもそうき

さんふいくたゑハ　こうろくふ　さかーまよぐいこ
よのたてこうろうゆのか里せおうふきんふをかけてあ
う屋くをぜツをとをこのせおうふけけとふことをを
せふそけるかをくくとゆくけらまうるやゑ　人ひてぐ
いのとらふあら猫ごをあまをしをあどかうらくあらん
とふふ左猫をよせたるやさて左ゑハ　としをふ　ざい
らうををさーをさんで人だんぜつをとををうるや心ゑ心
ハきことをぐ中ゆハさハ紙てゆ猫ら猫どよけ人聖ぢふ
目くまてうよふ事乃猫たしさふせきを里とおれう
のさくいうたのゆだつせふい乃紙かこくくといふこ
そけるひをこひをふらく猫まハ左をかちとやさんう

九　ゆもをがら猫づこ
うをしさをあふくたらへん
月月をてをづをくはびの
とけやをさこの

十番　あふ恵

右　猫こまくのこん平六
ふかをくさあふといふあの
をくだまておをありきよさ
いくとうどが中

をんふいたくたらくさハ　かいそうこを乳あつき事百
をくそあツて志ふ乃り他てかををくらふけ乃たけ百
をくをんてぬ乃につくを毛をとゆんふよありきくれく
にハこかをれあをさナだをう猫をこれけのあがさナだう
こまにてぬ乃をれるとりふたてのをを毛をときこのよ
月月の猫をを乃事ハたとこへハ人げんがこらあおハを
てあかへかくま入とをさあ乃ををこハ日ふとうふをの甚
人をぶくさんとてまちねくるにようをてあを乳中かを乃
くさふをかりてねうるとをさをくを乃猫をこくびをくれ
猫をこあてくらふやこまをせけんにたとゆを毛ハとらハ
こ乃よれををとがをハだごくをろ猫すをハ日ゆんくを

孫すこハ月まんてはこゝろをたゝゆる　のちのよにさぐ
りまさうをうふらすハあるあさましれ月れ孫をそやと
ありこまゝふりて月日の孫をこといふさいゆまもうき
たすけをとりうろこゝろさこゆさてまゝ孫こまゝれこん
ゑい六れうゝハまんやうに　まくぞぞらもくさいわと
くゝら孫こゝろあたきがゝきハいもゞ仏そとゝもこまを
みへきがんま　ゞたんくハゝのをいめうとゝあるをとう
ゝろときこゆゑのんハふかゝぐさハゞたんの事あり
はゝあてあひあまゝ結まハゝだまてあたきうくあもふと
よめ數ゝ尤在たにおくふかゝさ在事をとりあをうゝさば
まゝてたくひあけまハゝろまの夜ゝにてまゝとハ孫を

このうゝに月日とよこゝハらまゝうゝとくいんとやうと
いはまゝうひとつとしてかく數るあらじまゝ面てうゝさハ
一字せうくゝあかまをいへたまんやてやさく三十一じ
のうち廿八字ハ廿ハもあくあり三ツハ日月ちやうの三く
ハうべこまをとけてさかんバ上ノ又文字ハそゞあやう
大月あちあくあうちあうゝ又ゞのにようゝれこゝろ十二
字ハ十二あん忘んさてゝ下ノ白の上ノあゝもゞハくハこ
れ七佛たてゝ乃七を字ハ天祢七代をいやうす一ちあ忘いゞ
たまふ人ハかとけを一そんたくゝ小ことあゝまゝ此一
ゞ小さうのかゝこちを一ツそ面ゝ二おそくちんそくぶり
とあゝて、姉乃せりとかやちうまゝたうをとりむしけだ物

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-040　国立国会図書館

すでを天りふりふい和合かツぐらくれたなきハもんしや
をとをふぶりらをふいたり佐らん屋

210
328

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-041
国立国会図書館

5/10/40

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-042
国立国会図書館

うをのうた合・けだ物の哥合　WA7-175　00-043
国立国会図書館